

mHROSA-A1

MAP-200用 波長計付き
高分解能光スペクトラムアナライザ(OSA : mHROSA-A1)

Viavi Solutions™ は、光学系の実験および製造環境における波長テストに次世代の革新をもたらします。MAPベースの波長計付き高分解能OSAモジュールは、コンパクト1幅モジュールながらサブGHz帯の分解能解析性能を有します。MAP-230BおよびMAP-280メインフレームで動作し、その他Viavi MAP各種テストモジュール(パワーメーターや減衰器、スイッチ、光源、各種シグナル調整モジュール等)と共に、広範で多様な光テストを提供します。本モジュールは機能豊富な波長計付き高分解能光スペクトラムアナライザで、その解析機能は使いやすいGUIまたはMAP-200自動インターフェイスで制御できます。

コヒーレント検出技術に基づく本モジュールに可動部品はなく、これまでにない周波数分解能を提供することで、2GHzに近い高密度な光信号のパワーレベルと中心周波数を正確に測定します。

信頼性、コンパクト設計、パフォーマンスが不可欠な開発/設計および製造用テストシステムに最適な画期的ソリューションです。

プラットフォーム互換性

MAP-230B



3スロットのメインフレーム

MAP-280/MAP-280R



8スロットのメインフレーム

主な利点

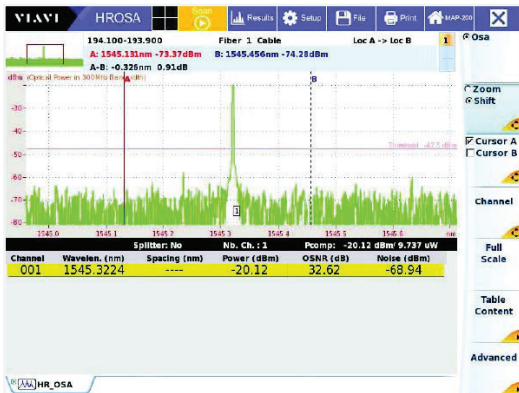
- 業界初、開発/設計および製造向けのCバンド対応波長計付き高分解能OSA
- 光信号のサブGHz分解能解析が可能
- 400 G ナイキストフレックスグリッドWDM信号解析をサポート
- MAPベースのモジュール設計により、より総合的な光デバイスへのプロセス統合が可能
- 総合的なMAPソリューションポートフォリオを補完
- 可動部品なし

主要機能

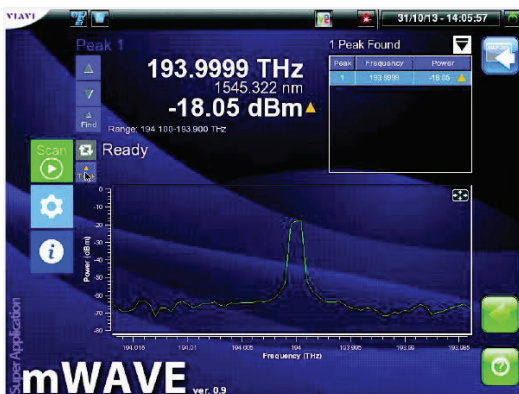
- サブGHz波長の分解能
- 拡張Cバンド取得レンジ
- 周波数、パワーレベル、OSNRを測定
- 連続および平均化テストモードを提供
- サイドモード抑圧比を測定

アプリケーション

- DWDM伝送システム
- 光源
- トランスポンダーとラインカード
- 10/40/100/400 Gコンポーネントおよびシステムの認定
- 100 Gおよび400 Gフレックス グリッド DWDMの検証と配備



HROSA GUI表示(スペクトラムと波長表示)



波長計GUI表示(波長とパワーと、簡易スペクトラム)

仕様(周波数レンジ全体で25°C±5°C時)

スペクトラム	
光周波数(波長)レンジ	191.1~196.4 THz (1526.44~1568.77 nm)
周波数(波長)の絶対不確か率 ¹	±370 MHz (±3 pm)
最小分解能分離	2 GHz (16 pm)
分解能帯域幅	300 MHz
分解能帯域幅設定	
表示分解能	0.0001 nm
パワー	
入力パワーレンジ(チャンネル当たり)	-60~+10 dBm
ノイズフロア	-75 dBm
最大安全トータル入力パワー	+17 dBm
パワーレベルの絶対不確か率 ¹⁴	±0.5 dB
パワーリニアリティ ⁵	±0.4 dB
偏光依存性	±0.2 dB
その他	
リターンロス	50 dB以上
測定時間 ⁶	1.0秒未満
ファイバーの種類	9/125 μmシングルモードファイバー
コネクタの種類	FC/APC
動作時温度	10~40°C
非動作時温度	-20~+50°C
湿度	10~40°Cの範囲で最大95% RH (結露なきこと)
寸法	4.06 x 13.26 x 37.03 cm
重量	1.4 kg
校正期間	1年

1. 周波数レンジ全体
2. 無変調単一周波数レーザーパワーか、300 MHzの光帯域幅での変調信号ピークパワー
3. 全入力信号のトータルパワー
4. -20 dBmの入力パワー時
5. 入力パワーが-10~-40 dBmの場合
6. 50 GHz超の掃引レンジ、平均化なし

オーダー情報

説明	パーツ番号
MAP-200用 拡張Cバンド波長計付き高分解能光スペクトラムアナライザ	mHROSA-A1CB10



〒163-1107
東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワー7F

電話: 03-5339-6886
ファックス: 03-5339-6889

Email: support.japan@viavisolutions.com

© 2015 Viavi Solutions Inc.
この文書に記載されている製品仕様および内容は予告なく変更されることがあります
mhrosa-a1-ds-fop-nse-ja
30176053 900 0214